

2016年

携帯サイトへGo!→
携帯で教室便利が見られます



教室だより 9月号

敬老の日

1965年に9月15日を「敬老の日」とする国民の祝日が制定されましたが、2001年に祝日法改正が行われたことがきっかけで、いわゆる「ハッピーマンデー制度」の実施にともない、2003年以降は9月の第3月曜日に日付が変更されました。

ところで、「老人」というのはいったい何歳をさすのでしょうか。老人福祉法では、老人は「65歳以上」と定められています。また、世界保健機関（WHO）の定義では、65歳以上の人のことを「高齢者」としていることから、一般的に「65歳以上」の人が該当するようです。

ですが、年齢の線引きは人それぞれの基準があったり、「老人」とひとくくりにされることに抵抗がある人もおられます。大切なのは、我々が先人から学ぶ気持ちを忘れず、「敬老の日」は世代を超えて、敬う心をもって、誰もが抵抗なく「おめでとう」と「ありがとう」の時間を過ごす日にしたいですね。

公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

“より高く伸ばそう”

「学年を越えて進む」が目指すもの

公文式は「自学自習で高校教材」を目指す、学年を越えて進んでいく学習法です。

学校の授業を楽に理解していくためには、学年相当レベルの「読み・書き・計算」の力では不十分な場合が多いのです。学年より先に進んだ知的技術を持っていてこそ、授業も楽しく、余裕を持ってよく理解できるのです。1学年分先へ進んだくらいだと、学校の勉強が楽になり、成績や態度もよくなったという成果が見えるくらいかもしれません。学校の授業にもほぼ心配がなくなつていけるでしょう。しかしそれだけでは、自分のやりたいことを見つけ、思い切り探求していく感覚や、視野を広げていく力にはなりません。子どもがそのような状態になるには基礎学力にかなりの余裕が必要なのです。

自学自習によって、自分の力で2学年、3学年先へ進んだという体験を通じて、子どもは学力ばかりでなく、自主性や積極性、判断力や挑戦しようとする態度の面でもめざましい進歩を見せてくれるようになります。

2016年 9月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19 敬老の日	20	21	22 敬老の日	23	24
25	26	27	28	29	30	

本市場教室日□

横割教室日△

(注意) 29日(木)は研修のためお休みです。
従って22日(木)が振替学習日です。

公文式本市場教室 火・木 3～7時 TEL 186-61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3～7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者：新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

☆ どこまで進めるか!? チャレンジ!! ☆



“目標は何教材?”

それぞれの目標に向かって一歩ずつ!!

◎9月末に、表の進度に到達した人には、《進度一覧表基準認定証》が発行されます。

(次回は“12月末”進度です)

9月末 進一基準	半学年先 の教材を学習	2学年先 の教材を学習	3学年先 の教材を学習
算数、数学	英語	国語	算数、数学
幼少	4A 200	A 200	4A 200
幼中	3A 200	A 200	3A 200
幼長	2A 200	A 200	2A 200
小1	A 200	A 200	A II 200
小2	B 200	B 200	B II 200
小3	C 200	C 200	C II 200
小4	D 200	D 200	D II 200
小5	E 200	E 200	E II 200
小6	F 200	F 200	F II 200

KUMON

様

～お子さんの成績アップのために～

静岡県では、県民の一人一人が日ごろから本に親しめるようにし、生涯を通じて読書を楽しむ習慣を持てるような「読書県しずおか」を目指しているそうです。読書について自分自身を振り返って最近特に思うことは、スマホを持ち歩くようになってから、その手軽さに慣れてしまって、読書する時間も減ってしまったのではないかとということです。スマホは連絡したり、情報を取り出すには非常に便利ですが、雑多な情報が頭を通り過ぎるだけになっていることも否めません。IT産業の先駆者で、世界一の富豪でもあるビル・ゲイツは大変な読書家だそうですが、そうなった背景には、子供のころに親から読書の習慣をつけてもらったことが非常に大きかったといいます。子供が成長するに際して、また成人してからも、読書は心を育み、新たな価値を生み出すもとになるものだと思います。スマホ全盛の時代だからこそ、読書の意義を見直さなければならぬと改めて感じます。

～「どのように学ぶか」見直し～

2020年度から順次始まる新学習指導要領の概要を示した中央教育審議会の「審議まとめ案」が公表されました。学校の授業はこれからどう変わるのか。文部省の狙いは。小学校はこのようなです。

*英語の読み書き開始・プログラミング導入

小学校では、英語教育が大幅に充実します。いまは小学5、6年生で「外国語活動」がありますが、年間の最低基準は35コマ分（1コマは45分）で、週1コマ分。学校によっては時間数を増やしたり早めに始めたりしていましたが、遊びや歌などの「話す・聞く」の学習が中心でした。

これを「外国語科」という教科に格上げ。

「読む・書く」の領域も加えて70コマ分（週2コマ分）に増やされます。

国の検定を受けた教科書が使われ、身近な単語や文章の読み書きが始まります。

小学3、4年は35コマ分（週1コマ分）の「外国語活動」が始まります。

「話す・聞く」が中心で現行の5、6年生と似た内容といいます。

年間授業時間の最低基準を定めた「標準授業時数」は、外国語の時間増で3年生以降で35コマ分ずつ増える。

他教科は削減も追加もなく現行通りとし、3年生は980コマ分、4～6年は1015コマ分になる案です。

増える時数をどう確保するかは学校に委ねました。

「プログラミング教育」も加わりました。コンピューターに指示を出す作業を体験し、基礎的な「プログラミング的思考」を身に着けるのが目的で、「総合」や「理科」「音楽」「算数」など学校の決める教科や活動の中で行う。電気製品がプログラムに従って条件に応じて動作していることに気付いたり、ICT（情報通信技術）機器で音楽をつくったりする内容です。

討論や発表などを通じて主体的、協働的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」も、本格化します。

これにより、引っ込み思案の子や、協調性のない子の対応も考えなければなりませんね。

従来の学ぶ内容が減らない中、追加されたり刷新されたりした内容をどのように授業に取り入れていくかも、学校にとって大きな課題となるようです。

以上のように、小学校で、限界とされてきた週28コマを超えて授業時数が増えることになりました。学校側が時間割りをどう編成し、追加される内容を授業でどう扱うか？子どもが消化不良を起こすことなく学べるのか？ますます目が離せませんね。

お休みのときは、電話でも携帯メールでも結構ですので連絡をお願いします8月分の会費引き落としは8月29日(月)です。よろしくお願いいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。

お迎え電話を教室からする子には必ず電話代10円を持たせてください。